

渡邊真弓(わたなべ まゆみ)

新潟大学大学院医歯学総合研究科修了。  
医学博士(2011、Ph.D)

『健康新概念—免疫学的警示, Good Medicine and Hello Healthy life』(陝西科学技术出版社 共訳)、『原著論文で読む免疫学』(三和書籍、共訳)、『The Only Two causes of All diseased』(Babel Press U.S.A、監修:近日出版予定)の訳書その他、英文学術論文多数。



世界中で何百万人ともいわれる喘息患者の数が、近年増加し続けています。ぜんそくはアレルギー性疾患の一つです。発作を誘発するアレルゲン(抗原)には、ダニや花粉などの異種タンパク(自分の体にはないタンパク質)、ハウスダスト、化学物質、環境汚染物質など、人によってさまざまです。ぜんそくの発作治療では、気管支拡張剤や抗アレルギー剤、ステロイド剤などが用いられます。これは対症療法で、根本的治療ではありません。病気の治癒には、先ず、病気が発症するメカニズムを知る必要があります。本書は、これまでサイエンスに基づいた自然療法をテーマに多くの本を出版してきたナチュラルヘルスサイエンス博士号を持つ米国カリフォルニア州の自然療法士であるCase Adams 氏の手によるものです。Adams 博士の本は、EBM(en:Evidence-based medicine、根拠に基づいた医療)が随所にちりばめられた良書です。Adams 博士がこれまでの膨大な医学研究書や論文をもとに研究した成果が、シンプルで理解しやすい英語で紹介され、本書を最後まで読めば、「自然のちからで喘息が治る」理由が無理なく理解できます。

医学分野の翻訳は難しいと思われがちですが、人体は世界共通です。いくつかのキーワードを理解すれば、決して難しくはありません。これまで、生物学や医学と縁遠かった人にも、随時わかりやすく言葉の意味のみならず、生物学や医学の基礎知識を解説しますので、翻訳の実力のみならず、幅広く生物学や医学の知識を無理なく身につけることができます。山中伸弥・京都大教授のノーベル生理学・医学賞以来、医学に対する興味が高まっています。「知は力なり」。玉石混交の医療情報が飛び交う、今、生命の真実と自然の神秘を見つけるための最新の生物学や医学満載の知的冒険に、あなたも一緒に参加しませんか。